

充電式 振動ドリルドライバー

取扱説明書

18Vリチウムイオン電池パック

UB18VVDDBL50BPCG



もくじ

安全上のご注意	1~6
各部のなまえとはたらき	7~8
ご使用前の準備	
電池パックを充電する	9~12
充電器を壁に取付けて使用する	13~14
先端工具の取付け・取外しかた	15
ベルトフックの取付け・取外しかた	16
ご使用方法	17~21
電池パック・充電器について	22
お手入れ・保管	23
故障かな?と思ったときに	24~25
仕様	26
修理について	27

- このたびはUBERMANN製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、十分ご理解いただいて正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

●いすれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

※表記内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や、傷害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることや、可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が傷害を負う可能性及び物質・財産の損害が発生する内容」です。

※なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いすれも安全に関する重大な内容を記載しているので、必ず守ってください。

※お守りいただく内容は下記の図記号で表しています。

 禁止	してはいけない内容です。
 実行	しなければならない内容です。

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

△ 警告

 禁止	●換気の良くない場所での充電はしないでください。
	●揮発性可燃物、可燃性ガスのある近くで使用しないでください。 ※発熱・発火・発煙・破裂のおそれがあります。
	●作業箇所に電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを十分確認ください。 ※埋設物に触ると感電や漏電、ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。
	●騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い(イヤーマフ)などの防音保護具を着用してください。 ※守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
	●作業時は保護メガネを使用してください。及び粉塵が多い作業または環境では、防塵マスクを併用してください。 ※守らないと目、喉に傷害を受けることがあります。
 実行	●作業する場所は十分に明るくしてください。 ※暗くて視野が悪いと、事故やけがの原因になります。
	●加工物はしっかりと固定してください。 ※不意に動き、けがをするおそれがあります。安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。
	●作業する場所はキレイに保ってください。 ※散らかった場所部材が散乱していると事故の原因になります。
	●取扱や作業方法、周りの状況などを十分注意して、常識を働かせて作業をしてください。 ※守らないと事故やけがのおそれがあります。

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 実行

- 屋外での作業の場合は、滑らない履物を使用してください。
※守らないと滑ってけがの原因になります。
- 衣服や髪・アクセサリーなどが、巻き込まれないような服装で作業してください。
※守らないと回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。長い髪は帽子や、ヘアーバンドなどで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどは着用しないでください。
- 高所作業時は、墜落防止用器具を使用してください。
※下に人がいないことを確認してください。守らないと事故のおそれがあります。

⚠ 注意

🚫 禁止

- 子供の手の届くところに置かないでください。
※事故やトラブルのおそれがあります。
- 子供などの作業者以外を作業場に近づけたり、先端工具や充電器に触れさせたりしないでください。
※けがのおそれがあります。
- 疲れているときは使用しないでください。
※事故やけがのおそれがあります。
- 無理な姿勢での作業はしないでください。
※転倒してけがをするおそれがあります。常に足元をしっかりとさせ、バランスよく作業できるようにしてください。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

🚫 禁止

- 電池パックは、火中への投入、加熱はしないでください。
- 電池パックの端子部を金属など接続させないでください。
- 電池パックを釘・ネジなどの金属と一緒に持ち込んだり、保管はしないでください。
- 電池パックに釘・ネジなどを刺したり、衝撃を与えたたり、分解・改造をしないでください。
※漏電や感電などで発火の原因になります。
- 当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使用しないでください。
また、改造した電池パックや分解して内蔵部品を交換した電池パックなども使用しないでください。
- 劣化した電池パックは使用しないでください。
※発熱・発火・破裂のおそれがあります。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

- 当社電池パックは、専用充電器以外では充電しないでください。
※電池の液漏れ、発熱・発火・破裂や充電器の故障の原因になります。
- 本体や充電器から外した状態の電池パックは必ず電池パックカバーを取付けてください。
※取付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。
- 電池パックを取付ける前に、スイッチOFFを確認してください。
※スイッチONのままだと事故につながる可能性があります。
- 電池パックは、「UBERMANN」製品以外に取付けないでください。
- 電池パックを高温場所で充電、使用、保管しないでください。
※電池パックを、周りの温度50℃以上の場所には保管しないでください。
電池パック劣化要因となり、発火、発煙のおそれがあります。
- 電池パックを油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。
※落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。
- 電池パックを満充電しても、著しく作業時間が短くなった電池パックは使わないでください。
- 電池パックが使用中、使用後熱くなることがあります。火傷の原因となるため注意してください。
- 充電中、充電器や電池パックを布やダンボールなどで覆わないでください。

🚫 禁止

- 電池の液が漏れたときは素手で触らず、以下の処理をしてください。
※液が目に入ったときは失明のおそれがあります。目をこすらずに、直ちにきれいな水で洗ったあと、医師に相談してください。
※液が身体や衣服に付くと、皮膚の炎症や、けがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師に相談してください。
※液洩れした電池パックは、使用を中止し、火に近づかないようにしてください。
すぐに販売店に相談してください。
- 複数の電池パックに渡る連続作業はしないでください。
※本機・電池パックは約20分、熱を冷ましてからご使用ください。
- 電池パックは最後までスライドさせ、カチッと音がして外れないことを必ず確認してください。
※守らないと、電池パックが落下し、事故になるおそれがあります。

❗ 実行

充電工具及び充電器使用に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

- コンセントや配線器具に定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしないでください。

※タコ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因になります。

- 電源コードやプラグを破損するようなことはしないでください。

- きず・破損・加工・無理な曲げ・ねじり・引っ張り・挟み込む・束ねる・熱器具に近づけたりしないでください。

※傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店に相談してください。

- 直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。

- 本体及び充電器の通気口を塞がないでください。

※火傷をしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。

- 本体や充電器の通気口から出る熱風を直接肌に当てないでください。

- 作業直後は、先端工具(ビット、チップソー等)やネジ・切りくず・電子端子に触れないでください。

※高温になっており火傷や切り傷などのおそれがあります。

- 改造や分解をしないでください。

※火災、感電、けがのおそれがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

- 雨中や、湿ったまたは濡れた場所で、使用したり充電したりしないでください。

※感電や発煙のおそれがあります。

- 濡れた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししないでください。また、充電器や電池パックも触らないでください。

※感電のおそれがあります。

- 使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

※守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

- 本体、充電器を油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。

※落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。

- 電源プラグは最後の根元まで確実に差し込んでください。

※差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。傷んだコードやプラグ、緩んだコンセントなどは、絶対使用しないでください。

- 電源プラグのホコリ等は定期的に除去してください。

※プラグなどにホコリが溜まると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

- 指定の付属品を利用してください。

※守らないとけがをするおそれがあります。

🚫 禁止

❗ 実行

充電工具及び充電器使用に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

⚠ 実行

- 使用前に本体、充電器、電池パック、充電器及び先端パーツや、その他の部品が損傷なく正常に作動することを確認してください。
※ 守らないと破損等によりけがをするおそれがあります。
- 本体が熱くなったら、作業を中断し、温度が下がってから使用してください。
※ 守らないと火傷をするおそれがあります。
- 屋外で充電するときは、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。また、太さ（導体公称断面積）2.0㎟ × 長さ10mの延長コードを使用することを推奨します。最高の能率でご使用いただけます。
※ 守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。
- 使用前にコードの破損がないか点検してから、使用してください。電源プラグを持って抜いてください。
※ コードを持って抜くと、破断、感電、ショートの原因になります。
- 使用場面に合った延長コードを使用してください。
- USB端子付きの充電器は、USB端子間をショートさせないでください。
※ 針金などがUSB端子に入るとショートして発煙、発火のおそれがあります。
- 集じん機能があるものは接続して、使用してください。
※ これを使用すれば粉じんの人体への負担を減らせます。
- 安全、効率よく作業いただくため本機は、能力に合った作業に使用してください。
※ 故障の原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

🚫 禁止

- 本機を50°C以上になる場所に保管しないでください。
※ 動作異常のおそれがあります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。
※ けがや事故のおそれがあります。

充電式振動ドリルドライバーに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 実行

- 作業によっては、防音用保護具や防塵眼鏡・耳栓・イヤーマフなどを着用してください。
※守らないと聴力や目、喉に悪い障害を与えるおそれがあります。
- 本機使用中に、回転が過負荷によって急停止することがありますので、本機を確実にしっかりと保持してください。
※確実に保持していないおそれがあります。
- 作業環境下に電気線・ガス管・水道管などの埋設物などが無いことを十分確かめてから作業をおこなってください。
※埋設物があると事故の原因になります。
- 本機を高所作業でご使用になる場合は、下に人や動物がいないことをよく確認してください。
※本機や先端工具・資材の落下で事故やけがのおそれがあります。

⚠ 注意

🚫 禁止

- 本機使用中は、手袋等が巻き込まれる恐れがありますので、着用しないでください。
※回転部に巻き込まれ事故やけがのおそれがあります。
- 本機作業中に、回転したまま放置しないでください。
※けがの原因になります。
- 作業直後の先端工具や排出物の切粉、クズは非常に熱くなっていますので、絶対に触れないでください。
※火傷のおそれがあります。

❗ 実行

- 作業中に万が一落下、過度な衝撃があった場合は本機や電池に破損や亀裂・変形等が無いかをよく確認し、作動・機能点検をおこなってください。
※変形・亀裂・破損があるおそれがあります。
- 本機に異音がしたり、作動中に調子が悪いときは、作業を中止し、電池パックを本機より取外し、お買い求め販売店に修理・点検をお申し出ください。
※個人での分解をしないでください。事故やけがのおそれがあります。
- 作業中に先端工具がチャックに食い込んで取れなくなったりした場合は、直接手で触れないで、作業工具を利用して取外してください。
※けがのおそれがあります。
- 本機が熱くなったら作業を中止し、本機を冷ましてから使用してください。
※故障の原因になります。
- 先端工具は取扱説明書に従って、確実に取付けて作業をおこなってください。
※確実に取付けないと、事故やけがの原因になります。

各部のなまえとはたらき

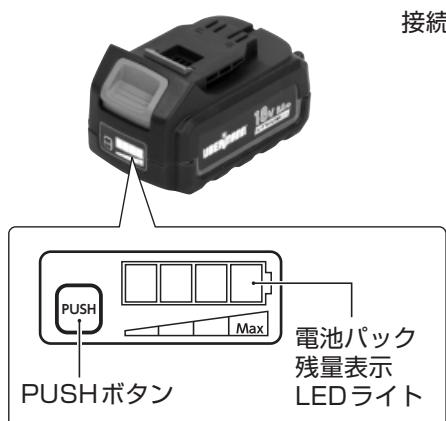
本体 UB18VVDDBLBFS



※UB18VVDDBL50BLBPCG セット

5.0Ah 電池パック 1個 UB18VBP50

専用充電器 1台 UB18VCG6A



各部のなまえとはたらき

付属品・別売品

※UB18VVDBBL50BPCG セット

商品名	付属品数	別売品・品番
本体	セット品 1個	UB18VVDBLBFS (本体のみ別売品有) ベルトフックは付属していません。
ベルトフック ネジ	セット品 1個	UB18VIDBF (別売品有)
充電器	セット品 1台	UB18VCG6A (別売品有)
5.0Ah電池パック	セット品 1個	UB18VBP50 (別売品有)
電池パックカバー	セット品 1個	UB18VPSF1550 (別売品有)
収納ケース	セット品 1個	UB18VHC
両頭ビット ⊕2×65mm	セット品 1本	⊕2×65 両頭 1本
取扱説明書	セット品 1冊	

お知らせ

●本機 UB18VVDBLBFS には、別売品電池パックがご使用できますが、付属の充電器での充電時間が異なりますのでご承知ください。

充電器	電池パック充電時間(約) 使用後冷ました電池パック		UBシリーズ
	UB18VBP25	UB18VBP50	
UB18VCG6A	約35分	約70分	18V全種 使用可能
UB18VCG4A	約60分	約120分	

- 電池パックは充電環境によっては充電されない(0°以下の保管状態など)場合がありますので、ご注意ください。
※電池パックを20°前後の環境に約1時間程温度になじませてから充電をおこなってください。
- 電池パックは使用後の(放電直後)熱い電池パックを充電器で充電すると、充電されない場合がありますので、ご注意ください。電池パックを冷ましてから充電をおこなってください。
※充電器に差し込むと、充電器内部ファンが作動し充電されるまで冷やしますが、その間は充電不可状態のランプ表示されますが、故障ではありませんので、ご注意ください。

ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電器充電表示ライトの見かた【UB18VCG6A】

ライト表示	緑	表示内容	参照
赤	赤点灯	通電状態 赤 点灯(電源に差し込んだ状態です) 通電表示。	P.11
緑	緑点滅	充電開始時 緑 点滅 電池パックを差し込むと『ピッピッピッ』と電子ブザーが鳴り、冷却用ファンが始動します。通常充電。 充電中 緑 点滅	
緑	緑点灯	充電完了 緑 点灯 電子ブザーが『ピッピッピッ』と鳴る。 緑点灯の充電完了(目安)時間は、電池の種類により異なります。 UB18VBP50=約70分、UB18VBP25=約35分	
黄	黄点灯	冷却中 黄 点灯 ①電池パックが高温です。冷却後自動的に充電開始。 ②電池パックが氷点下です。 ※電池パック自体が約0℃以上になると自動充電開始。 電池パック自体を少し温めてから再度充電を行ってください。	
(異常時のライト表示及び表示内容)			
赤	赤点滅	電池故障の場合 赤 点滅 ※新品電池パックをお買い求めください。	

冷却用自動ファンについて

- 充電を開始すると自動でファンが作動します。
- 電池パック自体温度が氷点下にあるときは、充電器に差し込むと冷却ファンも同時に作動しますので、充電開始になりません。充電目安として、充電器の環境温度が20℃ならば電池パックを約30分以上経過してから充電器に差し込んで充電をおこなってください。

電子ブザーの鳴るタイミング

- 電池パックが正常の場合、充電器に差し込んだ充電開始時に[ピッピッピッ]と約4秒間鳴ります。【緑点滅】
- 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯になります。同時に電子ブザーの[ピッピッピッ]の音が約4秒鳴ります。

充電の前に

- 充電器は0~40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。
(充電する場所との温度差が15℃以内が良い。)
- 電池パックの温度が0℃以下または充電する場所の温度差が大きい場合は十分に充電できない場合があります。その場で長い時間(1時間以上)放置してから充電してください。
(電池パックの表面温度と電池パック内部の温度差があるため)

実行

- 電池パックを2個連続で充電を行う時は、充電を約30分以上休止し、充電器の温度が下がってから充電をしてください。
- 充電器はホコリの多い場所や、水や雨にかかる場所で使用しないでください。故障の原因になります。

お知らせ

- この説明書に記載の温度は目安です。実際には条件により、多少のずれが生じる場合があります。

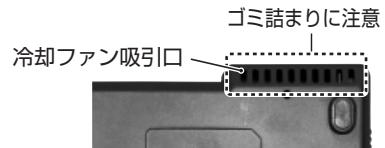
ご使用前の準備 電池パックを充電する

冷却システムについて

- ①電池パックの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンにより電池パックを効率良く冷却するシステムです。冷却ファン吸引口は送風の音がしますが故障ではありません。
- ②冷却ファンが故障したり、充電器や電池パックのゴミ詰まりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点灯し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、電池パックの通気口がふさがれていなか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ③充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点灯していないければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
※充電器、電池パックの通気口をふさがないでください。
※頻繁に「黄」のライトが点灯するようなときは、点検・修理を販売店にお申し付けください。
- ④充電完了後冷却ファンは同時に止まりません。充電環境温度にもよりますが、満充電電池状態では電池パック自体の温度が上がっているので、ファンは止まりませんが、温度が下がれば自動で冷却ファンは停止します。充電完了同時には止まりませんが故障ではありません。



①充電器本体



②冷却ファンの通気口
(充電器の裏側)



③電池パックの通気口
(電池パック上部)

電池パック残量表示LEDライトの見かた

【UB18VBP50】

- 電池パックLED正面左の残量確認ボタンを押すと使用前、中、後の電池残量が確認できます。

電池パックLED表示	電池電圧残量目安	充電指示状況
点灯	75%～99%	作業良好・保管可能
点灯	50%～75%	作業可
点灯	25%～50%	充電をしてください
点滅	0%～25%	作業中止・充電をしてください

- 電池残量表示LEDライトが1灯点滅のまま作動を続けると、電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といいます。

△ 注意

- 電池パックの表示LED点灯数は利用状況や気温などによって実際の表示残量と異なる場合がありますので、目安として参考にしてください。
- 作業開始前後瞬間でもLED残量表示が異なることがありますので、作業前には満充電状態から使用されることを望みます。

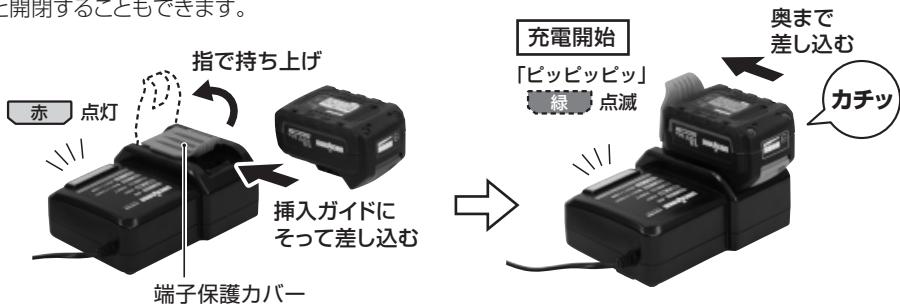
ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電のしかた

- 1 充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。
充電表示ライトは「赤」の点灯になります。



- 2 電池パックを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
充電器の端子保護カバーは指で持ち上げるか、電池パック挿入に伴い、ゆっくりと開閉することもできます。



- 3 ①電池パックを挿入すると充電表示ライトが「緑」に点滅し、「ピッピッピッ」
充電開始電子ブザーが短時間流れ、充電を開始します。
②充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了電子ブザーが鳴ります。
③そのまま電池パックを挿入しておけば冷却します。
※充電時間は周囲温度（10℃～40℃）や電池パックの状態（新品・
長期保存電池パックや寿命に近い電池パックなど）により変動します。
④充電完了後すぐに使用しない場合は、電池パックの冷却を行いますので、
そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約1時間です。
⑤電池パックを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



ご使用前の準備 電池パックを充電する

USB 電源端子への接続

△ 注意

- 本機充電器は、様々なUSB機器の外部電源としても使用することができます。
(最大出力電流は5V2A)
次の注意事項をお読みの上、正しくお使いください。

- 本機充電器は、専用電池パックを充電しながらでも、USB電源の利用が可能です。
- 万一の場合に備えて、ご使用になるUSB機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。
※接続したUSB機器の内部データが(予測できない問題により)破損・消失する可能性があります。
- USB機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
- 5V2Aを超える出力電流を必要とするUSB機器は、充電器に接続しないでください。
USB電源端子の最大出力電流は、5V2Aです。
※使用接続機器や本機故障の原因になるおそれがあります。
- 充電器との接続には、USB機器付属のUSBケーブルをご使用ください。【市販品をお買い求めください。】
- 使用後は充電器正面のUSBゴムカバーを戻してください。
※USBゴムカバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し、充電器の故障につながります。

【使用手順】

- ① 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
- ② 本体正面のカバーをはずして、USBケーブルでUSB機器と充電器を接続してください。【市販品】
- ③ 使用後は、USB機器、USBケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
- ④ 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

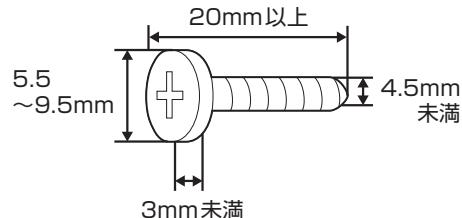
△ 注意

- 壁に取付けて使用する場合は、必ず吊り下げ用ネジ2本で本機の裏面のネジ穴に確実に吊り下げてください。
※落下して破損したり、けがの原因になります。
- 充電器の取付け作業をするときは、電池パックを抜き取り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で設置してください。
- 充電器を壁に取付け後は、電池を抜き取るとときに充電器が落下することがありますので、必ず充電器上部に固定ネジを打ち込んで、充電器が外れないようにしてください。
- 壁に取付ける場合は、充電器の重さに電池パックの重さが加わり約1.5kgになりますので、取付ける場所が耐荷重に耐えられるか確認し、不足の場合は取付け場所を十分補強してください。
- 壁掛けした充電器に電池パックを充電したり、取外しの際は動作を途中でやめないでください。電池パックが落下したり、充電器が壁より外れたりして危険です。
- 壁取付けのネジは定期的に緩んでいないか、しっかりと固定されているか確認してください。

充電器の壁掛けの準備

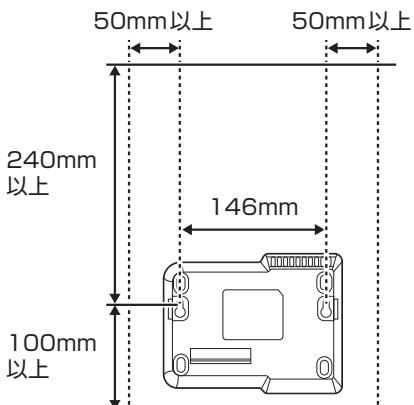
1) 用意するもの（市販品をご用意ください）

- ①木ネジ（吊り下げ用）4mm×20mm以上=2本
- ②木ネジ（充電器固定ネジ）4mm×30mm以上

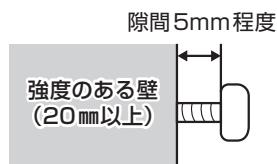


2) 吊り下げ用ネジの取付け

- ①取付けの壁面が凹凸等の障害物がないこと、また壁内や裏に電気配線や通信配線、ガスの配管等がないことを確認してください。



- ②充電器の他電池パックを差し込んでネジが抜けない強度のある壁面に取付けてください。



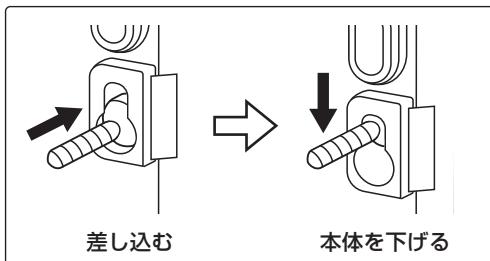
ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

3) 充電器の取付け

吊り下げ用ネジに本機充電器裏面のネジ穴を2ヶ所あわせて、ネジが穴に入った後に引っ掛けて充電器を下に下げてください。4mm×20mm以上ネジ

※壁面ネジ2個と充電器ネジ穴2個が、引っ掛かっていることを確認してください。

【充電器裏側】



吊り下げ用ネジ穴

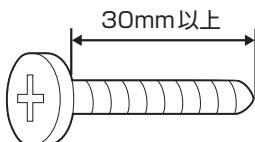
木ネジ (4mm×20mm以上)

4) 充電器を固定する

充電器がより安全に壁面に固定、保持できるように固定用ネジを図のように締め込んでください。

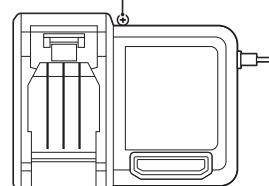
※本機を破損させないようにネジを打ち込んでください。(市販品ネジ)

使用例 4mm×30mm以上ネジ



【充電器表側】

固定ネジ (30mm以上)



5) 充電器の日常点検

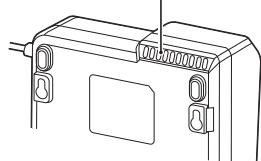
①日頃から安全に効率よくお使いいただくために日常定期点検をおこなってください。

②充電接続端子等のゴミやホコリの撤去をする。

柔らかいブラシでまたはエアーダスターなどを使用して清掃してください。

③冷却ファン吸引口は常にゴミやホコリを避けて使用してください。

冷却ファン吸引口



6) 保管について

- 子供の手の届かない場所、鍵の掛かる場所に保管してください。
- 湿度の高い場所や温度が急変する場所に保管はしないでください。
- 雨水の掛かる場所は絶対に避けて保管してください。
- 直射日光の当たる場所での保管はしないでください。
- 揮発性物質に近い場所に保管しないでください。

ご使用前の準備 先端工具の取付け・取外しかた

△警告

- 先端工具の取付け、取外しの際は必ず電池パックを本機より取外してください。
※万が一本機が作動してけがのおそれがあります。

△注意・実行

- 本機が熱くなるような連続作業はしないでください。
※故障の原因になります。
- 本機の正逆回転の切り替えは、モーター回転が停止した状態でおこなってください。
※故障の原因になります。
- ご使用の電池パックを満充電しても、初期の半分程度の作業しかできない場合は、電池自体の寿命です。新品電池のご購入、もしくは販売店にご相談ください。

1. 先端工具の取付け・取外し

◎本機の規格に合った市販の先端工具をご使用ください。

使用可能な先端工具例

チャック能力 1.5~13.0mm

穴あけに



- ドリル・キリ
(鉄鋼用(軟鉄)、木工用、ショートビットなど)

ネジの締め付けに



- 片頭・両頭ビット
(+・-, 六角、トルクスなど)

ボルトの締め付けに



- ソケットビット
(ショート、セミロング、ロングなど)

①正逆切替ボタンを中央のロック位置にする。

※ロックにしないと、不意に作動してけがのおそれがあります。

中央のスイッチを
ロック位置にする

正逆切替スイッチ



②ドリルチャックスリーブを時計の逆回しに回し、
先端のツメを開きます。

時計の逆回し
ツメを開く



③開いたツメにビットやキリを差し込みます。

④ドリルチャックスリーブを時計回しに強く回して
ビットやキリを確実に固定します。

※丸いストレート軸はスリップしやすいので、
きつく締め付けてください。

時計回し
工具を固定



⑤取外しは、ドリルチャックスリーブを時計の逆回しに回し、ツメを緩めてからビットやキリを抜き取ってください。

チャック能力
1.5~13.0mm

ご使用前の準備 ベルトフックの取付け・取外しかた

3.ベルトフックの取付け・取外しかた

- 取付けるときは、本機の溝にベルトフックを差し込んだ後、ネジで固定します。左右どちら側にも取付け可能です。

※本体の内側両サイドにネジ専用ナットが埋め込まれています。

- 取外すときは、ネジをゆるめてからベルトフックを外します。

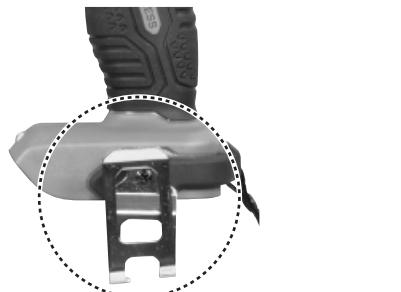
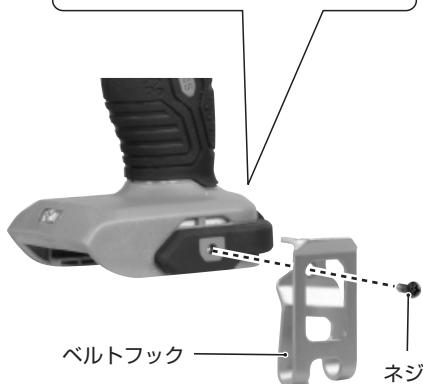
- ベルトフックは別売品として販売しています。

品名	品番
ベルトフック	BU18VIDBF

別売品をお求めの場合は、販売店へご相談ください。

⚠ 注意

- ベルトフックを取付ける際は、ネジを十分に締め付けてください。
ネジの締め付けが不十分ですと、ベルトフックがはずれ、事故の原因になります。
- ベルトフックはベルトの幅、太さによって完全に保持できない場合があります。十分に保持できることを確認の上、ご使用ください。
※特に高所作業では、本機の落下で事故やけがのおそれがあります。



電池パックは外した状態
で取付けてください。

ご使用方法

1. 正逆切替ボタンの操作

- 正逆切替ボタンのA側を押すと右回転（正転）し、B側を押すと左回転（逆転）します。
- 正逆切替ボタンを中間の位置にすると、トリガースイッチが引けなくなります。（安全ロック位置）



△ 注意

- ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
- 正転・逆転の切り替えは、モータの回転が停止した状態でおこなってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。
- 本機を使用しないときは、正逆切替ボタンを中間のロック位置にしておいてください。

2. トリガースイッチの操作

△ 警告

- 本機に電池パックを差し込む前に、正逆切替ボタンが中央のロック位置にあることを必ず確認してください。
- ※スイッチを入れたまま電池パックを差し込むと急に動き出し、事故やけがの原因になります。



正逆切替ボタン [A側] 矢印 (→) を押す **正回転** (右回転)

正逆切替ボタン [B側] 矢印 (→) を押す **逆回転** (左回転)

- トリガースイッチを引くと回り、放すと止まります。
無段変速機能付スイッチ。
- トリガースイッチの引き加減により、お望みの回転数
および打撃数が得られます。



トリガースイッチ

ご使用方法

3. LEDライトの点灯

- 本機のLEDライトは、トリガースイッチと連動しています。
①トリガースイッチを握るとON点灯します。
②再びトリガースイッチを引かないと、約10秒後にOFF消灯します。(故障ではありません)



4. 回転速度の切り替え操作のしかた

△ 注意

- 本機のモーター回転中に切り替え操作をおこなわないでください。
※故障の原因になります。
- 切り替えレバーの位置が中途半端な位置に合って使用すると故障の原因になりますので、きちんと正規の位置に合わせてご使用ください。

回転速度切り替えレバー



切り替えレバー 1

低速で締め付け力が強い。過負荷作業向き。

切り替えレバー 2

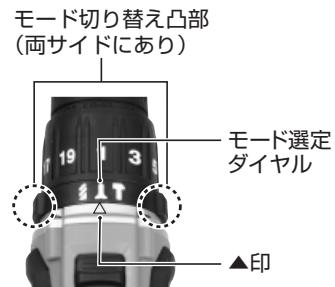
高速で締め付け力は弱い。負荷の低い作業向き。



- トリガースイッチの引き加減で0～最大回転数のコントロールができます。
- 本機モーターが止まるような過負荷な連続作業をおこなうと、モーター焼損のおそれがあります。また本機が熱くなったら作業を中止し、本機を冷ましてからご使用ください。

5. モード切り替え操作のしかた

- ①モード切り替え種類は3種類パターンあります。
 - ②本機上部の▲印にモード剪定ダイヤルの各マークを合わせてください。
- a) ドリルモード  マーク
回転のみ作動です。
 - b) ドライバーモード  マーク
回転とクラッチ(締め付けトルク調整可能)作動です。
 - c) 振動ドリルモード  マーク
回転と振動作動です。
- ③各モード設定をおこなうときはモード切り替え凸部を指で握り、任意のモードに合わせてください。



ご使用方法

a). ドリルモードについて

- 本機の▲印にドリルモードマークを合わせてください。

⚠ 警告

- 穴あけ加工時の貫通間際に急に大きな力が加わって、先端工具が折れたり、振り回されたりしますので、慎重に丁寧に作業をおこなってください。
- 作業中は先端工具の刃物切れ味等によって、本機が振り回されることがありますので、本機をしっかりと保持してください。
※確実に保持しないとけがのおそれがあります。
- 本機の回転が止まるような作業または本機が熱くなったら作業は中止してください。
※電池電圧の急減、本機の故障の原因になります。

①モード選定ダイヤルのドリルモードマークを本機の▲印に合わせてください。

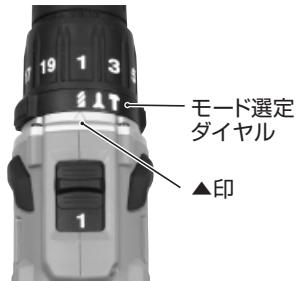
②チャックに加工物に合った先端工具(キリ等)を取付け、穴位置を決め、本機トリガースイッチを引いてください。

③希望の穴が開いたらトリガースイッチを戻し、先端工具(キリ等)を引き抜いてください。

●ドリルモードでは、クラッチモードダイヤルによる締め付けトルク調整の必要はありません。

〈アドバイス〉

- 鉄類の穴あけには、マシン油を付けて使用します。
- 硬い平面に穴あけをする場合は、センターポンチ等で開け、位置決めをすると穴あけがしやすいです。
- 厚い材料の穴あけは、切削粉などがキリの溝に詰まって切れ味を悪くすることがありますので、一度材料からキリを抜き、切削粉を取り除くことをお勧めします。
- 作業中に予備電池パックで連続使用される場合は環境温度にもよりますが、本機を15分以上休ませてからご使用ください。
※故障の原因になります。



b). ドライバーモードについて

- 本機の▲印にドライバーモードマークを合わせてください。

○締め付けトルクモード調整

①ネジの締め付け作業において締め付けトルクを調整するときは、クラッチモードダイヤルの数字1～19間でトルク調整ができます。

②一度ネジを締め付けてから、強弱の調整をおこなってください。1が弱で19が強です。

〈アドバイス〉

- ネジの締め付けは、材質の硬さでも異なりますので、調整をおこなってください。

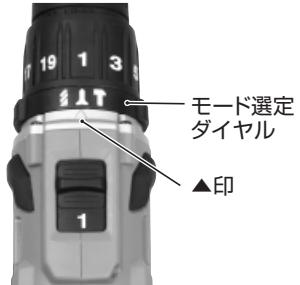


ご使用方法

△ 注意

- ネジの締め付けをするときは、ネジの頭形状に合った先端工具で、ネジに対して垂直・水平になるようにして締め付けをおこなってください。
※ビット等が合わない事や、斜めに締め付けるとネジの頭部を痛め変形することがありますのでご注意ください。

- ①モード選定ダイヤルのドライバーモード  マークを本機の▲印に合わせてください。
- ②ネジの頭に合ったビットを溝に合わせ、トリガースイッチを少しづつ引きながらビットを外さない程度に押す力で作業をおこなってください。
- ③ドリルモードは1～19（低～高トルク）で任意の設定ができます。メモリは1・3・5…と印字されていますが、印字の無い2段や4段もあり、実際には1段・2段・3段～19段までトルク調整が可能です。
- ④クラッチが作動し、チャックが回らず空回り音がする場合は、トルク設定が原因ですのでスイッチを戻します。



〈アドバイス〉

- ネジの締め付け時、材料の厚さ・節目・歪み等のある場合は、先にネジの径より細い径のキリで穴を開けておくと材料が割れ等を防げます。

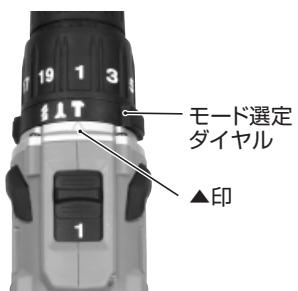
c). 振動ドリルモードについて

- 本機の▲印に振動ドリルモード  マークを合わせてください。

△ 注意

- 振動ドリルモードでの使用ドリルは、超硬ドリルで振動タイプをご使用ください。(コンクリート用穴あけ)
※超硬チップが破損してドリル寿命が短命になります。
- 本機に過負荷が掛かる作業ですので、本機が熱くなったり、電池パック交換による連続作業はしないでください。最低でも15分以上冷ましてからご使用ください。
※故障の原因になります。

- ①モード選定ダイヤルの振動ドリルモード  マークを本機の▲印に合わせてください。
- ②取付けた振動ドリル（キリ）の先端を加工物に当て、穴あけしたい位置に合わせてトリガースイッチを引いてください。
- ③穴が開いたらトリガースイッチを戻してドリルを引き抜いてください。
※作業中は粉塵が発生しますので、防塵メガネなどご使用ください。
- 振動ドリルモードでは、締め付けのトルク調整は必要ありません。



〈アドバイス〉

- 穴あけの初期位置決めは低速回転にすると容易です。
- 深い穴あけは、ドリルに粉塵が詰まるので、作動しながらドリルを出し入れして粉塵の撤去をしながら穴あけをすると容易にできます。

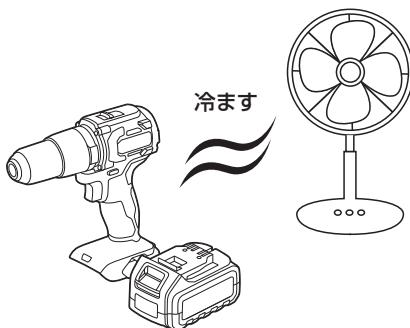
ご使用方法

本機および電池パックの保護機能

本機を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであります。故障ではありません。

●本機および電池パックの温度が高温になるとモーターが自動停止します。

- ・本機が自動停止して、LEDライトも点滅する状態になりますので、電池残量もチェックボタンを押して電池残量を確認してください。
- ・使用を中断して本機より電池パックを取りはずし、冷却ファンつきの充電器で充電および冷却をしてください。
- ・電池パックを冷ましても本機が動作しない場合は、本機を冷ましてください。



●電池パックの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。故障ではありません。

- ・LEDライトが同時に点滅します。
- ・本機より電池パックを取りはずし、電池パックを充電してください。
- ・電池自体にも電圧残量表示で確認ができます。PUSHボタンを押す。
→ LEDライト1個点灯またはLEDライト1個が点滅になります。



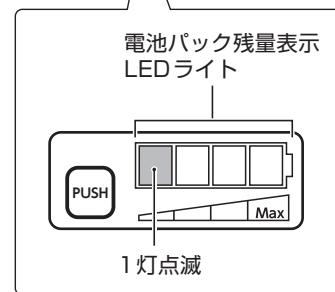
【PUSHボタンを押すと】

●電池残量表示LEDも1灯点滅します。

※この状態で作業すると電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といいます。作業は中止し、直ぐに充電をおこなってください。

●本機が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。

- ・いったんスイッチを放し、本機より電池パックを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。



電池パック・充電器について

電池パックについて

- 下記の状態となった場合、特に電池パック寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
 - ・高温充電の繰り返し……連続作業後の放電による熱い電池パック充電など。
 - ・低温充電の繰り返し……0℃以下からの急な充電など。
 - ・満充電電池パックの再充電の繰り返し
 - ・過放電の繰り返し（過放電とは工具の力が弱くなてもさらに使用する状態です。）

電池パックを長持ちさせるには

- 工具の力が弱くなってきたと感じたら作業を中止して、充電してください。
- 満充電した電池パックを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲でおこなってください。
- 使用直後などの熱くなった電池パックは、充電器に差し込む前に冷却してから充電することをおすすめします。
- 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオン電池パックは満充電してから保管することをおすすめします。
- 冬期間の0℃以下の電池は直ぐに充電せず、少し温めてから充電することをおすすめします。

電池パックのリサイクルについて

- リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。廃棄の際は下記の手順を参考にして販売店にお持ちください。
- 電池パックの接続端子をショートさせないように、電池安全カバーを付けるか、テープ等で絶縁をする。電池パックは最寄りの販売店かリサイクル協力店にお持ちください。



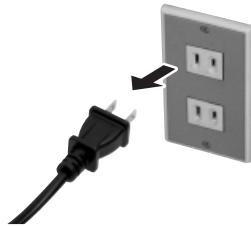
お手入れ・保管

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換などのお手入れ前には、必ず電池パックを本機より取外しておこなってください。
※不意に作動してけがのおそれがあります。
- 日頃の点検をおこない、保管場所が40°C以上になる場所での保管はしないでください。
※電池の寿命を損ねたり、使用できなくなることがあります。
- 本機、各部部品を子供の手の届かない場所に置いてください。
※子供が間違って使用したり、飲み込んだりして事故やけがのおそれがあります。

お手入れのしかた

- 充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- やわらかい布でふく、濡れた布や、シンナー・アルコール・ベンジンなどの揮発性のものは使用しない。
- 本体や部品装着品のネジの緩みがないか確認する。緩みがある場合は、締め直してください。
※ネジの締め過ぎ、付属品等の無理な押し込み、収納は破損のおそれがあります。
- 油汚れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石鹼水を付けた布をかたくしぼってから本機をふいてください。
※本機は防塵・防水ではありませんので、ゴミ・ホコリ・雨水等を侵入させないでください。
- 充電器や本機の通風口をやわらかいブラシ等で軽くゴミを取り除く。
- 充電器の接続端子や電池パックの接続端子のゴミをやわらかいブラシ等で取り除いてください。



付属品のお手入れ

- 各種アタッチメントは本体やケースなどに適正な保管場所が装備されていますが、簡易的な収納ですので作業環境によって邪魔になる場合や、紛失の可能性もありますので別途収納袋等に各自保管してください。
- 各種市販のアタッチメントは、材質や形状違い、長短・刃物形状違い等がありますので、摩耗状態などをよく確認して、無理な使用はしないでください。破損に注意して取付けや保管をお願いします。

保管のしかた

以下の条件を避けて保管してください。

- 車中などの高温になる場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 子供の手の届く場所。
- ゴミやホコリの多い場所。
- ガソリン・揮発性の高い引火物が有る場所。

故障かな?と思ったときに

修理を依頼される前に一度下記項目を点検してください。

○充電のとき

状 態	原 因	処 理
●充電器の通電赤LEDが点灯しない。	●コンセントに通電されていない。	●別のコンセントで試してください。
●充電器の充電中、緑LED点滅にならず充電されない。	●充電器と電池パックの接続がされていない。 ●電池が高温の為に充電されない。	●奥までカチッと音がするまで差し込んでください。 ●黄色LED点灯中は充電ができないので、ファンで冷却後に自動充電され、緑点滅LEDに変わります。
●充電器が赤点滅LEDを表示して充電が開始されない。	●作業後直後の熱い電池を充電した為。 ●電池が過放電状態になっていて充放電が出来ない状態です。	●新品電池を別途お買い求めください。(販売店まで)

○作業のとき

状 態	原 因	処 理
●本機が動かない。	●電池パックが正常に本機に取付けられていない。 ●電池電圧が少ない。 ●連続使用による本機の高温状態で自動停止したため。 ●保管及び環境温度が0°C以下で使用温度以下そのため。 ●正逆切替ボタンが安全ロックの位置にありませんか。	●電池パックを奥まで差し込んでください。 ●作業を中止し、電池の充電をおこなってください。電池パックの残量表示LEDライトを確認してください。 ●本機安全措置による自動停止、冷してからご使用してください。故障ではありません。 ●電池パックを20°C環境下で1時間程温めてからご使用ください。故障ではありません。 ●本機の正逆切替ボタンをどちらかに押してトリガースイッチを引いてください。
●回転が上がらない。	●水没や雨水が内部に浸透し故障。	●販売店に商品をお持ちの上、修理依頼をおこなってください。
●打撃が弱い、強い。	●電池電圧が少ない。	●電池の充電をおこなってください。
●作動時スイッチからの異音。	●本機トリガースイッチ引き込みの電子音(ピー)がなる。	●本機の回転制御による音です。故障ではありません。

故障かな?と思ったときに

状 態	原 因	処 理
●満充電しても作業時間が短くなった。	●電池活性化が悪い、電池の寿命です。	●満充電しても、著しく作業時間が短くなったら電池の寿命です、新品電池パックをお買い求めください。

- 上記記載されている処理をしても改善が見られない時は、本体・充電器・電池パックをセットで、販売店に修理の依頼をお申し付けください。

△ 警告

点検・整備の作業前には、必ずスイッチを切り、本機より電池パックを抜いてください。

※電池パックを本機に差し込んだまま行うと、事故やけがのおそれがあります。

仕様

- 本機は使用状況によって本体が熱くなると自動停止します。
- 作業中に電池電圧が低く過放電状態になると本機は自動で停止します。
- ※電池に過放電保護装置がありますが、スイッチを握る瞬間は電流が流れますのでそれらを繰り返すと過放電を保護できなくて充放電ができない状態になります。
作業中にパワーが落ちたと思ったら作業を中止し、充電をおこなってください。
- 作業後の（放電後）熱い電池パックを充電すると、充電できない場合があります。電池パックを冷ましてから充電をおこなってください。また使用前後の環境温度が0度以下の場合は電池パックの活性が悪く本機に差し込んでも作動しない場合があります。20度前後で2時間程放置し、温度を上げてご使用ください。

●適応用途

※数値は参考値ですので、電池パックの充電状態及び作業環境等によって異なります。

穴あけ（目安）	鉄工： $\phi 13\text{mm}$ ／木工： $\phi 38\text{mm}$ ／石工： $\phi 13\text{mm}$
ネジ締め（目安）	木ネジ： $\phi 10\text{mm} \times 90\text{mm}$ ／小ネジ：M6

●1充電当たりの作業量（5.0Ah電池パック使用時）

穴あけ	木工キリ $\phi 9\text{mm}$ ラワン（30mm厚） 約1,680個
ネジ締め	$\phi 6 \times 75\text{mm}$ SPF（高速時） 約320個
	$\phi 9 \times 75\text{mm}$ SPF（低速時） 約170個

●振動ドリルドライバー UB18VVDBBLBFS

電動機	DC ブラシレスモーター
無負荷回転数	低速： $0 \sim 600\text{min}^{-1}$ 高速： $0 \sim 2,000\text{min}^{-1}$
締付けトルク	60Nm (600kg f-cm)
チャック能力（約）	1.5～13.0mm
最大穴あけ	鉄工： $\phi 13\text{mm}$ 、木工： $\phi 38\text{mm}$ 、 石工： $\phi 13\text{mm}$

入力電圧	DC18V
打撃数 min^{-1} (回転数)	低速： $0 \sim 10,200\text{min}^{-1}$ 高速： $0 \sim 34,000\text{min}^{-1}$
ねじ締付能力	木ネジ： $\phi 10 \times 90\text{mm}$ 小ネジ：M6
質量（約）	1.27Kg
本機サイズ（約）	長さ188×幅77×高さ196mm

別売品仕様

●6A充電器 UB18VCG6A

入力電圧	単相交流 100V				
入力周波数	50～60Hz				
入力容量	250VA				
電池パック充電端子	出力電圧	DC18V	出力電流	DC6A	
USB電源端子	出力電圧	DC5V	出力電流	DC2A	
	端子形状	USB A型			
本機寸法（約）	長さ179.3×幅142.7×高さ94.9mm				
質量（約）	0.84Kg				

●5.0Ah電池パック UB18VBP50

本機寸法（約）	長さ119.9×幅76.5×高さ68.7mm
質量（約）	0.65Kg

改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

修理について

⚠ 警告

- 保守、点検の際は、必ず電池パックを本機より取外してください。
※電池パックを取付けたまま行うと、不意に作動して事故の原因になります。
- 修理の際は、自分で分解・修理しないで、必ずお買い上げの販売店にお申し出ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金：基本料（修理検知）有料（商品によって異なります）
- 技術料：有料⇒診断・故障場所・修理・調整・修理後の点検作業、その他にかかる手間代、費用。
- 部品代：有料⇒修理に使用した部品・及びその他補助材料代です。
- 返送運賃：有料⇒最寄りの店舗までの商品返却代です。

MEMO

MEMO

販売元

株式会社 コメリ

新潟県新潟市南区清水4501-1

お客様問合せ窓口：Tel. 025-371-4805

